

緑2 独立防災隊ニュース

回覧

発行番号 41号 発行日 28-4-18 発行人 隊長：堀口 眞 編集人 広報部長：福澤 祥二

第1回 定例会の開催 4月10日（日）19:00～自治会館

- ・本年度事業計画についての確認、隊員レベルアップ訓練として放水訓練と器具点検を毎月実施、**水消火器を使用して地区班担当単位による訓練**を5月～10月にかけて実施する。
- ・防災隊組織図について主な変更は、自治会防災部長に堀口隊長兼務、企画業務班に鈴木部長、給食給水班に中村班長、婦人部に大沢部長。
- ・自治会会員のための防災訓練（遊水池）を5月15日（日）に実施、**投てき用消火器のデモンストレーション（初訓練）**を行う。
- ・災害用トイレの取次ぎ販売を昨年同様に実施する。



平成28年度 第1回 定例会の様子

「婦人部設立一周年披露の会」を開催 4月16（土）13:30～ 自治会館

主催者の山澤自治会長、堀口隊長ならびに婦人部隊員13名を含み、緑2・防災隊員と大沢相模原市議会副議長、平林地区連会長、宮崎市議員をはじめ来賓者合わせて40余名が参加、はじめに熊本地震で犠牲になられた方々に謹んで哀悼の意を表し、黙祷を捧げました。主催者、来賓者の挨拶の後、大沢婦人部長の挨拶があり、最後に**（株）映学社**が昨年より**緑2・婦人部を中心に撮影**を進めてきた、防災DVD「**地域防災で婦人の力を生かす**」の上映を行い閉会となりました。



堀口隊長の挨拶



大沢婦人部長の挨拶



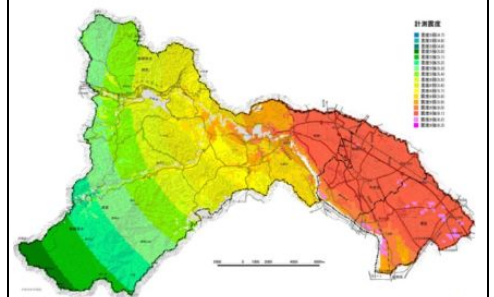
婦人部隊員と来賓の皆様

◆地震編

相模原市に大きな影響を及ぼす地震

「相模原市防災アセスメント調査報告書（概要版）平成26年5月」によると、近い将来の発生確率が高い地震として、

・**東部直下地震：相模原市の東部地域直下の地震（M7.1）**を想定される地震の1つとしています。震源域は町田市との境界に沿った断層面で、長さ23km、幅12km（地図上では6km）、深さは地表から5～15.4kmです。この地震を中央防災会議による首都直下地震被害想定予測手法（2013年）を用いると、**中央区については震度6強**（右上の震度予想図参照）となります。おりしも、14日午後9時26分熊本県熊本地方を震源とする地震があり、マグニチュード（M）は6.4（前震）と推定されているが、**直下型地震**であるため、**同県益城町で震度7**を記録、その後も断続的に地震が続き、16日午前1時25分頃、震源の深さが、約12km、M7.3（本震）と推定され、**熊本市中央区や南阿蘇村、菊池市などで震度6強**が観測されています。



震度予測図（東部直下地震）



読売新聞 4月15日朝刊1面より